

排泄ケアの改善～3つの効果を実現～



養護老人ホーム悠生園
大竹裕之・安保恵里

施設紹介

- ・理念

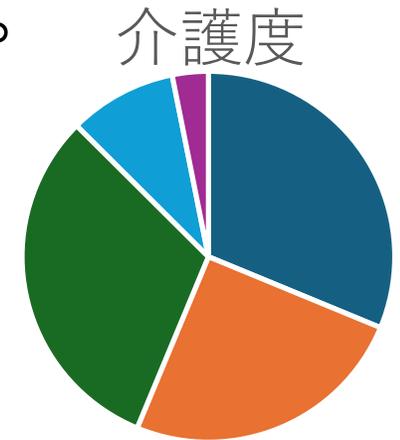
いのちを大切にすることを職員一人一人の心に育む。

- ・所在地：栃木県佐野市

- ・入所状況：50床 入所者41名 入院者2名（R6.11）

- ・介護度1：10名 2：8名 3：10名 4：3名 5：1名

- ・デイ、ヘルパーステーション併設



排泄に関わる業務改善の経緯

なぜ業務改善が必要か？

- ・夜間尿漏れが多く、寝つけないご利用者あり
- ・排泄ケアに時間を取られレク等、ご利用者とのコミュニケーションの時間が確保できない
- ・物価高の影響でコストが7%上昇



排泄に関わる業務改善の目標

業務改善の目標

1. 夜間尿漏れが多いご利用者に快眠して頂くこと
2. 配置された職員で円滑に業務を行えるようにすること
3. おむつ・パッドの使用量を職員が意識できるようにすること

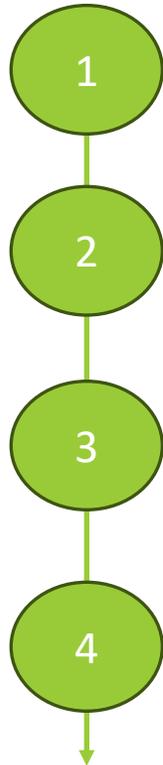
業務改善をするにあたり①

今までの業務を振り返ると...

- ・職員によってパッドの選定や当て方、技術面に関するもばらつきがあった。
- ・排泄介助は固定時間で入るものと決めつけていた。
- ・効率化や漏れの防止にばかり意識が向いてしまい、
体型に合っていない大きいサイズや必要以上に吸収量の多いパッドの使用、
重ね使いなど、おむつ・パッドの使用量に対して意識が低かった。
- ・おむつ・パッドの使用量の管理が充分ではなかった。
- ・おむつ類の取引業者は2社で、管理がしづらかった。発注ミスも度々発生していた。

業務改善をするにあたり②

どのように業務改善を進めるかをリブドゥ営業担当に相談

- 1 尿量測定
 - 2 適正なパッドの選定 ※皮膚トラブルがある利用者の対応について
 - 3 排泄ケア回数の見直し
 - 4 正しい使い方の講習
- 

取組み～排泄ケアの見直し～「尿量測定」

誰を対象に尿量測定をするか？

A様(男性98歳)

夜間帯に尿量が多い
衣類まで濡れてしまうことも多い

B様(男性84歳)

腹部側、鼠径部からの漏れが多い

C様(女性93歳)

夜間帯の尿量が多い
衣類まで濡れてしまうことも多い

3名共通

- ・日勤帯の尿量は多くない
- ・モニタリング以前は夜間の排泄ケアは19時と23時の2回



夜間尿漏れの多い3名をモニタリング

	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	7月29日
A様	1002	1425	831	959	850	511	1016	1036	717	593	1078	736	787	761	1254	1089	843	1242
B様	579	672	450	374	742	283	806	838	406	348	527	419	558	562	866			
C様	869	1420	821	974	1086	673	876	547	1017	1333	679	1004	1018	683	885	1095	1040	1063

※黄色塗りつぶしは漏れあり。

測定時間：就寝時(19時)～起床時(4時)

測定方法：就寝時におむつ・パッド装着、起床時にパッドの重さ測定、
夜間帯のパッド交換なし。

吸収量目安

スピードキャッチ 850ml～1020ml

スピードキャッチスーパー 1150ml～1380ml



吸水量に関係なく漏れてしまう。技術向上に向けて改善する必要性あり

皮膚トラブルのあるご利用者の対応

褥瘡を繰り返すご利用者のモニタリング

D様(女性69歳)

以前より臀部、鼠径部に亀裂が出来やすく、改善と悪化を繰り返している。

1日1回患部の洗浄、外用薬の塗布

日勤帯の尿量は多くない。

モニタリング以前は夜間の排泄ケア2回(19時・23時)

懸念点

排泄ケアの回数を1回にすることで皮膚状態を悪化させてしまうのではないかと？



夜間帯の交換回数を減らして 漏れや皮膚に問題がないかモニタリング

使用するパッドは皮膚状態の悪化を考慮し、高吸収タイプのハイパースキンプロプレミアム



	尿量	漏れ(レ点)	漏れの状態
8月1日	1099		中等量の排便あり
8月2日	211		漏れなし
8月3日	632	あり	オムツ後方から中央に漏れ
8月4日	210		漏れなし
8月5日	546		漏れなし
8月6日	694		漏れなし
8月7日	908		中等量の排便あり、ハイパープレミアムつけ忘れてサラケアのまま
8月8日	763	あり	オムツ左側に1/3の漏れあり
8月9日	286		
8月10日	1082	あり	多量の排便あり



皮膚状態は2回交換時と同様

皮膚浸軟のある
ご利用者も安眠できる！

測定時間: 就寝時(19時)～起床時(4時)

車椅子乗車時は30分に1度の除圧、
臥床時は2時間置きの体位交換の徹底

排泄ケアの回数を少なくできるかモニタリング

取組み後

日勤帯: おむつ交換**2回**、使用パッド**2種類**

トイレ誘導**3回**、使用パッド**2種類**

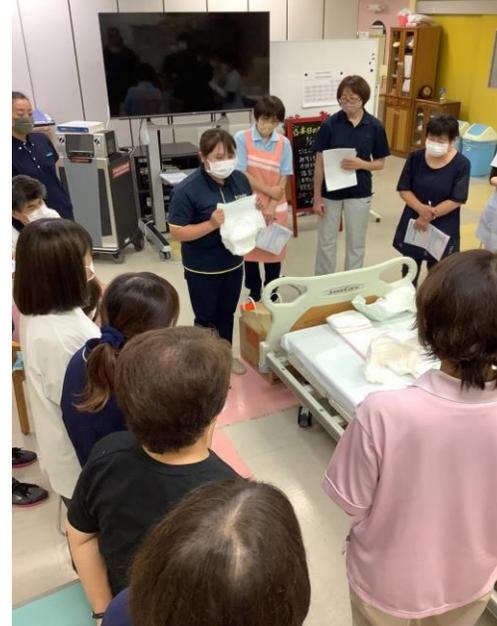
夜間帯: おむつ交換**2回**、使用パッド**2種類**

	8:30	10:30	12:30	15:30	16:30	18:30	23:00	1:00	5:00	6:00
〇〇様	トイレ誘導		トイレ誘導		トイレ誘導	トイレ誘導			トイレ誘導	トイレ誘導
〇〇様	トイレ誘導		トイレ誘導		トイレ誘導	トイレ誘導			トイレ誘導	
〇〇様		オムツ交換		オムツ交換		オムツ交換			オムツ交換	
〇〇様		オムツ交換		オムツ交換		オムツ交換			オムツ交換	
〇〇様		オムツ交換		オムツ交換		オムツ交換			オムツ交換	

吸収量が多いパッドの使用、おむつサイズの見直しにより**漏れが改善し交換回数削減**
ご利用者と関わる時間が増え、お互いの**笑顔が増える**。

専門家による講習指導

リブドウ様による講習実技指導



講習指導にて得られたこと

- ・サイズ選び: テープ止めタイプはヒップサイズ
パンツタイプはウエストサイズ



- ・使用方法: 着用時おむつやパッドは勢いよく振らない
ギャザーをしっかりと立てて漏れを防ぐ
おむつは上下のテープがクロスするように着用
パッドの重ね使いは漏れの原因

正しい使い方をすることで漏れが防げる



取引業者をリブドゥーに一本化

取引業者を一本化したことによるメリット

- ・発注ミスの軽減
- ・業務の効率化
- ・新しい情報や技術を教えて頂ける
- ・定期的な講習会の実施
- ・ご利用者の対応等で困った時に相談ができる



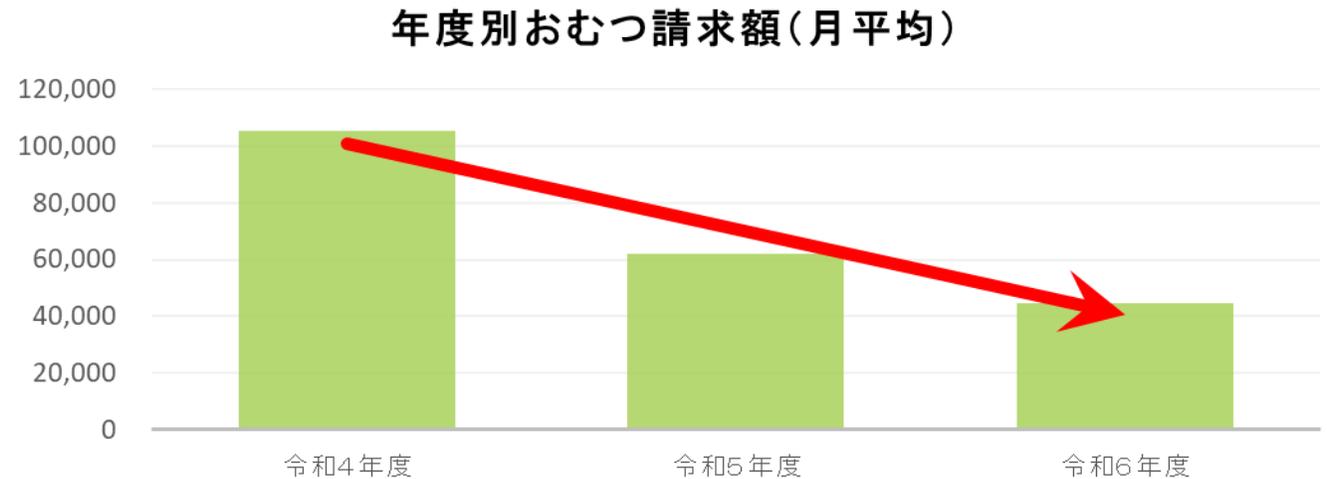
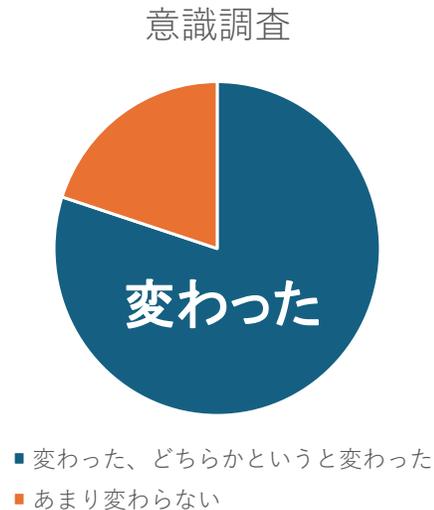
排泄ケアの見直しによる効果を実感できたか？

職員へのアンケート

- ・夜間帯のおむつ交換が無くなったことで安眠に繋がっている。
- ・夜間起きないことでリズムが整い、日中も落ち着いて過ごせている。
- ・講習会の実施でご利用者に快適におむつを使用して頂けるようになった。
- ・ご利用者、職員ともに身体的負担が減った。
- ・排泄ケアに時間が取られなくなった分、他の業務に手が回るようになった。
- ・おむつやパッドの使用量が減ったことで経費の削減ができた。
- ・チェック表の使用やご利用者の尿量を把握したことにより、本人に合ったおむつや、パッドの選定ができ、無駄がなくなった。

コスト削減に関する意識調査

取組みにより意識は変わったか？



職員への意識調査により**80%以上**が**大切に正しく使用する**という意識に変わる！

おむつの請求額も**大幅に減少**！

排泄ケアの見直しにより得られた3つの効果

どのような効果があったか

- 1.皮膚トラブルが悪化することなく、ご利用者の**安眠**を確保、
生活の質が向上
- 2.職員の排泄ケアに対する知識や技術の**スキルアップ**
- 3.意識が変わることで**経費削減**



残された課題

- 排尿があったら気持ち悪いからすぐに変えて欲しいというご利用者がいた
→ 個別ケアの取り組み検討
- 職員より排泄ケアの回数を削減することで介護の質が低下するのではとの声あり
→ 定期的な勉強会の開催
- パッドの使用量は少なくなったが、おむつの使用量が多くなった
→ 定期的な勉強会の開催
- おむつ管理表のチェック漏れがあるため正しい在庫管理が出来ていない
→ チェック表に工夫(パッドの画像を載せる等)

おわりに

今後の自分たちに必要なこと...

- ・限られた職員数でいかにご利用者に満足をして頂けるかを考える。
- ・ご利用者からの意見を尊重しながら負担の軽減を継続して行う。

ご利用者が生きがいを持ち、悠々と生活をして頂くために



ご清聴ありがとうございました

